

第8期（平成29年度）事業報告書

（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

公益財団法人 LIXIL 住生活財団

1. 事業内容

(1) 研究助成事業

① 第26回（平成29年度）助成事業の概要

本年度の研究助成総額は、8,494 万円といたしました。

② 応募の状況

本年度の研究助成募集は、4月1日より、財団のホームページでの公募を行いました。

6月30日の締切日までに、222件の応募がありました。

③ 選考結果

平成29年10月6日（金）、丸ビルコンファレンスにおいて選考委員会を開催し、慎重審議の結果、91件（助成金総額8,494万円）が、助成対象候補として選考されました。その後、11月6日（金）の第18回臨時理事会で、選考案どおり決定いたしました。

助成決定先の研究者および研究題目は次頁の表の通りです。

なお、財団設立以来、26期間における助成の累計は1,438件、助成総額は14億4,447万円となっております。

番号	氏名	役職名	所属機関	研究課題名	助成金額
17-01	内藤 旭恵	講師	静岡産業大学	情報技術を用いた歴史的建造物の保存再現に関する研究	¥1,600,000
17-02	伊藤 一秀	教授	九州大学	建築材料に含有する準揮発性有機化合物による人体曝露量の定量評価	¥1,200,000
17-03	位田 達哉	講師	第一工業大学	桜島火山灰を素材とする静電塗工技術を用いた超高性能調湿建材の開発	¥400,000
17-04	井戸田 秀樹	教授	名古屋工業大学	耐震改修を併用したリフォーム工事促進のための設計支援ツールの開発	¥1,200,000
17-05	木村 祥裕	教授	東北大学	非構造部材の座屈拘束効果を考慮した大空間構造物の終局限界設計法の提案	¥1,200,000
17-06	小林 弘明	主任	あいち産業科学技術総合センター	凝着現象を応用した耐食性に優れた表面処理技術の開発	¥1,200,000
17-07	黒田 乃生	教授	筑波大学	白川村における合掌造りの屋根をおろした家屋の現状に関する研究	¥640,000
17-08	栗田 耕一	教授	近畿大学	超高感度静電誘導電流検出技術を用いたアンビエントな防犯住宅に関する研究	¥1,200,000
17-09	古田 智基	教授	第一工業大学	高靱性型ハイブリッドバッシブ制震システムの開発研究	¥1,200,000
17-10	穂積 篤	研究グループ長	産業技術総合研究所	自己修復機能を兼ね備えた多機能透明防曇皮膜の開発	¥1,600,000
17-11	高田 暁	准教授	神戸大学	住宅の室内表面材料の吸放湿性状の最適化による快適な室内環境形成に関する研究	¥1,000,000
17-12	清水 郁郎	教授	芝浦工業大学	クロントイ型住宅リノベーションモデルの創出	¥1,000,000
17-13	菊地 竜也	准教授	北海道大学	新規なアルマイトのナノ構造設計に基づく超寿命アルミニウム建材の創製	¥1,200,000
17-14	小林 克弘	教授	首都大学東京	海外コンバージョン建築事例の新規開拓調査および居住施設の転用に関する考察	¥840,000
17-15	三田村 哲哉	准教授	兵庫県立大学	ユルバニストの誕生－「景観」を尊重したフランスの都市計画家に関する考察－	¥1,200,000
17-16	藤井 雄作	教授	群馬大学	e 自警ホームカメラによる安全安心な地域社会の創成	¥1,200,000
17-17	内山 知実	教授	名古屋大学	水栓取付型の高齢者見守り装置の開発	¥1,600,000
17-18	胡桃澤 清文	准教授	北海道大学大学院	プロトン NMR による混合セメントコンクリートの凍害発生メカニズムの解明	¥600,000
17-19	阿子島 めぐみ	主任研究員	産業技術総合研究所	住宅の熱的性能評価における熱流センサの信頼性に関する実測的研究	¥1,600,000
17-20	金田 一男	教授	有明工業高等専門学校	PC 鋼棒で緊結した鋼板サンドイッチ工法により補強した RC 柱の耐震性能に関する実験的研究	¥1,111,200
17-21	佐藤 宏司	主任研究員	産業技術総合研究所	機能性材料の分極疲労特性を利用した構造体の余寿命判断センサに関する研究	¥1,200,000
17-22	青柳 由佳	講師	越原学園 名古屋女子大学	奄美大島における伝統的民家「ヒキムン構法」の地域性	¥270,000
17-23	近藤 佳秀	主任主査	北海道立総合研究機構	体育館床損傷の早期検出方法に関する検討	¥1,020,000
17-24	角倉 英明	准教授	広島大学	住まい手による日常点検を組み込んだ在来木造住宅のメンテナンスプログラムの構築	¥1,080,000
17-25	藤平 真紀子	准教授	奈良女子大学	吉野材の価値評価に関する研究	¥744,000

番号	氏名	役職名	所属機関	研究課題名	助成金額
17-26	菊地 端夫	准教授	明治大学	自治体による共同住宅の住環境向上のための規制施策の展開と効果:米国カリフォルニア州自治体と HOA の関係を中心に	¥700,000
17-27	小林 研治	准教授	静岡大学	全ねじビス等を用いた木質部材・接合部の割裂補強	¥1,200,000
17-28	清家 剛	准教授	東京大学大学院	戸建住宅における非構造化材の解体分離性の実態調査及びその資源循環性の定量的評価指標の構築に関する基礎的研究	¥1,170,000
17-29	鷹野 敦	准教授	鹿児島大学大学院	次世代の多機能 CLT の開発	¥1,170,000
17-30	添田 喜治	主任研究員	産業技術総合研究所	人間の心理生理反応に基づく居室内音環境の最適化に関する研究	¥1,080,000
17-31	松原 茂樹	准教授	大阪大学	重症心身障害が安心して過ごすためのバリアフリー環境整備の提案	¥880,000
17-32	長谷川 兼一	教授	秋田県立大学	熱環境から見た冬期の居住性能の地域特性の分析ー東北地方 12 都市の住宅における 36 年間の比較ー	¥1,600,000
17-33	小林 光	准教授	東北大学大学院	多様な建築環境計測に資する有線多点計測システムの開発	¥1,200,000
17-34	池田 靖史	教授	慶應義塾大学	設計・生産・施工の連携的 ICT 応用「情報化建築技術」によるクレイ系伝統的建材と工法の発展的継承方法の開発	¥1,200,000
17-35	植松 康	教授	東北大学	飛散物の衝突による損傷を考慮した木造住宅外壁システムの耐風性評価	¥900,000
17-36	三島 伸雄	教授	佐賀大学	歴史的低平地都市における複合災害を考慮した高台避難の検証手法	¥1,360,000
17-37	西岡 真稔	教授	大阪市立大学	疎水性多孔質膜を用いた窓用蒸発冷却ルーバーの開発	¥1,080,000
17-38	鈴木 卓	助教	大阪大学大学院	複数開口を有する CES 耐震壁のせん断終局強度評価法の開発	¥1,200,000
17-39	鈴木 裕介	助教	大阪市立大学	無機系新材料により耐震・耐火性改善の複合効果を付与した木質構造部材の開発	¥1,200,000
17-40	黒石 いずみ	教授	青山学院大学	生き延びるための家:災害復興公営住宅の研究	¥1,200,000
17-41	永田 明寛	教授	首都大学東京	エアカーテンの気流遮断性能向上に関する基礎的研究	¥1,600,000
17-42	大瀧 友里奈	教授	一橋大学	ストレスなく節水型社会を達成する	¥1,600,000
17-43	原田 和典	教授	京都大学	建築材料の燃え拡がり速度測定法と安全性評価法の開発	¥1,600,000
17-44	宇野 宏司	准教授	神戸市立工業高等専門学校	公的療養所における自然災害被災リスク検証と将来の利活用に向けた課題抽出	¥1,280,000
17-45	浅野 純一郎	教授	豊橋技術科学大学	津波危険地域における土地利用計画による適正居住誘導と適正建築誘導に関する基礎的研究	¥600,000
17-46	鍋島 佑基	助教	豊橋技術科学大学	調湿及び日射負荷抑制型高性能住宅の省エネルギー性と睡眠環境調査	¥1,200,000
17-47	板垣 直行	教授	秋田県立大学	スギ柱材連結パネルを断熱に活用した住宅構法の環境評価と仕様の改善	¥1,188,000
17-48	小山 明男	教授	明治大学	排出量増大が予想される建材の再資源化に向けた廃棄物処理およびその環境影響評価に関する調査	¥800,000
17-49	張 景耀	准教授	名古屋市立大学	3D モデリングに基づいた被災建築物応急危険度判定支援技術の開発	¥1,000,000
17-50	高木 次郎	准教授	首都大学東京	耐震壁と接合部の補強を兼用するモルタル仕上既存木造住宅の外付耐震補強工法の開発	¥1,200,000

番号	氏名	役職名	所属機関	研究課題名	助成金額
17-51	田中 聡	教授	常葉大学大学院	非専門家による建物被害調査に基づく住家の安全性評価システムの開発	¥1,200,000
17-52	脇坂 圭一	教授	静岡理工科大学	不均質さが生む快適性気流・光・熱と心理的評価からみた環境デザイン手法の提案	¥980,000
17-53	安枝 英俊	准教授	兵庫県立大学	着脱可能な天井を有する地区集会所を対象とした環境調整手法に関する研究	¥840,000
17-54	窪田 亜矢	特任教授	東京大学大学院	避難指示解除を経た原発被災地域における住環境の課題と意義	¥1,600,000
17-55	遠藤 和義	教授	工学院大学	建築・住宅着工における構造別シェア変動要因の市場分析	¥1,200,000
17-56	三田村 輝章	准教授	前橋工科大学	換気カプセル法の建材表面への適用による吸放湿量の直接計測法の確立	¥960,000
17-57	野口 美由貴	研究員	成蹊大学	電子たばこおよび紙巻たばこ使用による壁面付着物質の評価と除去に関する調査研究	¥1,200,000
17-58	人見 誠マルセル	客員研究員	明治大学	再編された景観における偽町並みの特性に関する研究 ロマンティックとシャングリラの比較から	¥840,000
17-59	長澤 夏子	准教授	お茶の水女子大学	靴型デバイスを用いた生活動作特性 一転倒をへらす家づくりのための動作に関する研究一	¥2,000,000
17-60	坂本 秀一	准教授	新潟大学工学部	支持方法を工夫した板振動型吸音器を開口部に内蔵した通風ドアに関する研究	¥1,200,000
17-61	有田 誠	助教	九州大学大学院工学研究院	多層膜の光干渉を利用した入射角依存-波長選択採光型省エネ窓ガラスコーティングの開発	¥960,000
17-62	吉澤 望	教授	東京理科大学	白の多様性とその建築的価値の検証	¥1,200,000
17-63	前川 歩	研究員	国立文化財機構奈良文化財研究所	伝統的建造物における構造工学の受容過程に関する研究	¥800,000
17-64	青柳 秀紀	教授	筑波大学	カビ産生赤色素の実用的連続生産システムの開発とDSSC への高度活用	¥1,200,000
17-65	岸本 嘉彦	助教	室蘭工業大学	寒冷地用エアコンと吸放湿材を併用した空調システムの適用性に関する研究	¥1,200,000
17-66	志村 真紀	准教授	横浜国立大学	港町のブランディング・リノベーションに向けた景観構成に関する研究 ー静岡県清水港を対象としてー	¥1,200,000
17-67	久保田 徹	准教授	広島大学大学院	伝統的住宅における中庭の熱的機能に関する国際比較:日本, アフガニスタン, マレーシア	¥1,200,000

調査研究助成 合計

¥76,093,200

若手	名前	役職名	所属機関	研究課題	助成金額
17-68	渡井 一樹	助手	早稲田大学	油圧式リンク機構による層崩壊防止機構の開発	¥498,000
17-69	蕭 偉	特任助教	首都大学東京	分譲住宅団地における大規模修繕の実態に関する研究：東京、大阪、名古屋、札幌、福岡などの主要都市を対象として	¥500,000
17-70	池谷 直樹	助教	九州大学	非正常換気量推定のための実スケール屋外実験	¥450,000
17-71	中沢 威人	助教	京都大学	腐朽菌による木材侵襲に必須な遺伝子の同定	¥450,000
17-72	陳 建中	助教	畿央大学	伝統的居住地における屋外空間および屋外着座場面の継承に関する研究	¥450,000
17-73	森竹 勇斗	特別研究員	理化学研究所	スマートウィンドウのためのメタマテリアルによる波面制御技術の開発	¥450,000
17-74	野村 圭介	特任助教	東海大学	2・3 段筋を考慮した RC 梁の応力状態に関する実験的研究	¥300,000
17-75	糸井川 高穂	助教	宇都宮大学	児童が危険箇所を発見し対策を検討するハザードハンティング	¥350,000
17-76	杉野 未奈	助教	京都大学	伝統構法の長屋に対する耐震補強法の提案	¥500,000
17-77	半海 宏一	助教	京都橘大学	住まいの境界を構成するエレメントの抽出と空間の考察	¥300,000
17-78	佐々木 修平	助教	八戸工業高等専門学校	超電導体を用いた浮上式免震装置の普及に向けた特性向上に関する研究	¥300,000
17-79	鈴木 遥	プロジェクト研究員	総合地球環境学研究所	インドネシア沿岸村落を事例とした「住み継ぐ」と家族に関する研究	¥300,000
17-80	小林 良平	教育研究助手	東京芸術大学	東日本大震災後、居住機能を担う漁師小屋の実態	¥500,000
17-81	阿久井 康平	特命助教	富山大学	「あき」を活用した柔らかな密集市街地の住環境整備に関する研究	¥300,000
17-82	前田 啓	助教	東京大学大学院	腐朽材の 3 次元密度分布を用いた破壊強度の推定	¥450,000
17-83	西松 秀記	技師	東北歴史博物館	絵画資料を用いた中近世における窓・建具の流通に関する研究	¥300,000
17-84	安藤 毅	助教	東京電機大学	長期耐久性を有する酸化亜鉛半導体型高感度火災検知センサ	¥350,000

若手研究助成（若手研究者）合計

¥6,748,000

学生	名前	役職名	所属機関	研究課題	助成金額
17-85	大江 由起	博士後期課程1年	奈良女子大学大学院	若齢者と高齢者の快適照明要件に関する研究	¥300,000
17-86	洪 へり	博士後期課程3年	早稲田大学	高齢者福祉施設の防災に関する日韓比較	¥300,000
17-87	高柳 誠也	博士課程3年	東京大学大学院	人口減少卓越地域における集落景観の変容に関する研究	¥300,000
17-88	根岸 尚代	博士後期課程1年	千葉大学大学院	「生きている戦争記憶遺産」としての戦災樹と防空緑地の研究	¥300,000
17-89	山田 駿介	博士課程2年	東京大学	電池レス無線センサ端末を用いた住宅の安心・安全に関する研究	¥300,000
17-90	瓜生田 優紀	博士前期課程1年	滋賀県立大学大学院	フィリピン・ダバオ市の都市形成と都市空間構成に関する研究	¥300,000
17-91	喜田 祥子	博士後期課程1年	相山女学園大学大学院	近代建築の評価及びマネジメントに関する研究	¥300,000

若手研究助成（学生）合計 ¥2,100,000

第26回（平成29年度）研究助成総合計 91件 ¥84,941,200

(2) 自主研究事業

[1] 第7回 LIXIL 国際大学建築コンペ

自然の中のSPAをテーマに世界の有力大学の学生による設計コンペティションを実施し、4月19日開催の公開審査会にて九州大学の「COLOBOCKLE NEST」が最優秀作品に選ばれ「MEMEDOUZ」に実際に建設され3月2日に竣工いたしました。

[審査委員]

隈 研吾（委員長、東京大学 教授）、野城 智也（審査員、東京大学生産技術研究所教授）、小山薫堂（審査員、放送作家・脚本家）、塚本由晴（審査員、東京工業大学院教授）、ディナ・バントロツク（審査員、カルフォルニア大学バークレー校教授）
(参加大学)

ペンシルバニア大学(アメリカ) ブエノスアイレス大学(アルゼンチン) IAAC 大学(スペイン) AAスクール(イギリス)
ウィーン工科大学(オーストリア) シドニー大学(オーストリア) 国立成功大学(台湾) 明治大学(日本)
メキシコ国立大学(メキシコ) リガ工科大学(ラトビア) 中国美術大学(中国)九州大学(日本)
東京藝術大学(日本) インドネシア大学(インドネシア)

[2] ワークショップスタジオ

「スタジオ メム」では、伊東建築塾による各種講座・ワークショップの開催や一般にも開放しイベント開催などが実施されました。

[実施事項]

本年度は、伊東建築塾（代表：伊東豊雄）によるワークショップ講座を2回実施しました。「地場の素材で家具」をつくるでは、家具デザイナーの藤江和子氏及び家具職人の宮本茂紀氏を招いて伊東建築塾の小中高生と大樹町の中高生による椅子等をつくる講座を行いました。また、「大樹町の食を楽しむ」では、料理家のヒラタマリ氏を招いて地元の食材を使った珍しい家庭料理を大樹町などから参加の一般の方に教えながら一緒に調理する講座を開講しました。

[3] メムメドウズを活用した学生研修

メムメドウズ等の施設を活用し、学生自らが住宅に関する研究テーマを設定、滞在しながら実験・分析し、レポートを発表しました。これにより、若い世代が住宅及び住環境、地域特性や住まい方などの知識を深めるとともに、将来望まれる住宅像を自ら考える場となりました。

[実施事項]

地元大樹町の大樹高校と、京都大学大学院工学研究科ならびに神戸大学大学院工学科の連携による調査研究・教育活動「*アクティブ・ラーニング学習交流会」を行いました。

学習交流会は、一般的な講義形式の学習とは異なり、メムメドウズ等の施設を活用し、学生自ら能動的に学習する場とし、これにより生徒の自然科学・工学に対する探究心を高め、科学的な思考や表現力の育成を目的としました。また、地域気候環境の異なる学生・生徒の交流を通して、コミュニケーション能力を高めるとともに、地域文化や住まい方・暮らし方について学ぶ場となりました。

[4] 健康のための住宅環境研究

寒冷な冬季環境下にある大樹町の高齢者施設を対象として、大量のエネルギーを使用する給湯・温水システムにおける熱損失を低減することにより省エネルギーを図るとともに、高齢者が快適に過ごせるように冬は暖かく、夏は涼しい室内環境の実現を目的としています。

[調査方法]

- 現状の温水供給システムの解析と制御方法の検証
- 温水配管・貯湯槽の保温材熱抵抗の推定
- 施設における換気経路の見直しによる省エネ・快適性・衛生面での改善

[調査からの考察]

- 現状の温水供給システムの解析と制御方法の考察
無駄な循環による配管系における周囲への熱損失とポンプ動力の浪費が生じ、制御なしの状況であり、不適切な温度分布と非省エネな放熱となっている。
- 温水配管・貯湯槽の保温材熱抵抗の考察
給湯・温水システムにおける配管や貯湯槽を保温する断熱材の性能低下による熱損失の増加が懸念される。
- 施設における換気経路の見直しによる省エネ・快適性・衛生面での考察
施設の換気、二酸化炭素濃度分布の予測モデルの妥当性の確認を進めた上で、熱・湿気の計算を行い、厨房換気方式の変更による室内環境、エネルギー消費面での改善の効果を定量的に推定する。

[5] 安心、快適な住環境研究

今後、日本では高齢化社会を迎え独居老人の増加や老々介護世帯の増加などが予想されています。また、核家族や母子家庭など家族の形態が多様化しています。

このような世帯における病気、けがなどと住環境における関連を調査・研究し、安心して快適な住環境とは何かを提案します。

[実施要領]

研究会のテーマに沿った研究者を大学等の研究機関から紹介を受け、その研究者の研究課題の応募から助成しています。

[実施事項]

- ① 助成件数 1 件
- ② 助成金額 800 万円

名前	役職名	研究課題	金額
金子 剛	講師	排便時、大便前周囲連続測定検査システムによる発見精度と確立に関する臨床データ確立、及び社会便益性に関する検証	¥8,000,000

2. 理事会・評議員会

(1) 第16回 臨時理事会

日時：平成29年4月14日

開催場所：書面決議

決議事項：(株)LIXILグループよりの現物寄付受領について

出席等：提案書に対し、理事9名全員の書面による同意の意思表示により、理事会の決議があったとみなされた。

(2) 第15回 通常理事会

日時：平成29年5月8日

開催場所：書面決議

決議事項：第1号議案 第7期（平成28年度）事業報告書の承認

第2号議案 第7期（平成28年度）財務諸表等の承認

第3号議案 評議員会の開催の承認を求める件

第4号議案 基本財産の株式に関する議決権行使の承認を求める件

報告事項：報告事項1 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

出席等：提案書に対し、理事9名全員の書面による同意の意思表示により、理事会の決議があったとみなされた。

(3) 第8回 定時評議員会

日時：平成29年5月24日

開催場所：日本工業倶楽部第4会議室

決議事項：第1号議案 第7期（平成28年度）事業報告書承認の件

第2号議案 第7期（平成28年度）財務諸表等承認の件

第3号議案 理事選任の承認を求める件

第4号議案 監事選任の承認を求める件

出席等：決議に加わることの出来る評議員9名中6名が出席し議案に対して、全員一致をもって承認可決された。

(4) 第17回 臨時理事会

日時：平成29年5月24日

開催場所：日本工業倶楽部第4会議室

決議事項：第1号議案 代表理事選任の承認を求める件

出席等：決議に加わることの出来る理事9名中7名が出席し議案に対して、全員一致をもって承認可決された。

(5) 第 18 回 臨時理事会

日時：平成 29 年 11 月 6 日

開催場所：書面決議

決議事項：第 1 号議案 平成 29 年度助成先及び助成金額の承認を求める件

出席等：提案書に対し、理事 9 名全員の書面による同意の意思表示により、理事会の決議があったとみなされた。

(6) 第 19 回 臨時理事会

日時：平成 29 年 12 月 2 日

開催場所：東海大学校友会館 「東海の間」

決議事項：第 1 号議案 内閣府の報告要求に対する報告書提出の承認

出席等：決議に加わることの出来る理事 9 名中 6 名が出席し議案に対して、第三者に検証を依頼する提案があった。内閣府への報告期限が迫っていたため、期限延長が認められれば第三者へ依頼するが、認められない場合は報告書提出することで承認可決された。

(7) 第 4 回 臨時評議員会

日時：平成 29 年 12 月 6 日

開催場所：書面決議

決議事項：第 1 号議案 内閣府の報告要求に対する報告書提出の承認

出席等：提案書に対し、評議員 9 名全員の書面による同意の意思表示により、評議員会の決議があったとみなされた。

(8) 第 16 回 通常理事会

日時：平成 29 年 12 月 20 日

開催場所：霞ヶ関ビルディング 36 階(株)LIXIL グループ会議室

報告事項：報告事項 1 内閣府立入検査の結果について

報告事項 2 代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

出席等：理事 9 名中 7 名が出席

(9) 第 20 回 臨時理事会

日時：平成 30 年 2 月 7 日

開催場所：書面決議

決議事項：第 1 号議案 内閣府への報告書の調査依頼の承認

出席等：提案書に対し、理事 9 名全員の書面による同意の意思表示により、理事会の決議があったとみなされた。

(10) 第 21 回 臨時理事会

日時：平成 30 年 2 月 11 日

開催場所：書面決議

決議事項：第1号議案 評議員会の開催の承認を求める件

出席等：提案書に対し、理事9名全員の書面による同意の意思表示により、
理事会の決議があったとみなされた。

(11) 第5回 臨時評議員会

日時：平成30年2月19日

開催場所：書面決議

決議事項：第1号議案 理事選任の承認を求める件

出席等：提案書に対し、評議員9名全員の書面による同意の意思表示により、
評議員会の決議があったとみなされた。

(12) 第22回 臨時理事会

日時：平成30年2月28日

開催場所：霞ヶ関ビルディング36階(株)LIXILグループ会議室

決議事項：第1号議案 代表理事の承認を求める件

第2号議案 常勤理事の報酬の承認を求める件

第3号議案 過去の支給した理事の報酬追認の承認を求める件

第4号議案 評議員会の開催の承認を求める件

出席等：決議に加わることの出来る評議員9名中7名が出席し議案に対して、
全員一致をもって承認可決された。

(13) 第23回 臨時理事会

日時：平成30年3月16日

開催場所：書面決議

決議事項：第1号議案 評議員会の開催の承認を求める件

出席等：提案書に対し、理事9名全員の書面による同意の意思表示により、
理事会の決議があったとみなされた。

(14) 第17回 通常理事会

日時：平成30年3月23日

開催場所：書面決議

決議事項：第1号議案 内閣府からの報告要求に対する回答書について、趣旨が
大きく変わらない範囲での記載内容の変更及び提出を代
表理事に一任することの承認を求める件

第2号議案 平成30年度事業計画書の承認を求める件

第2号議案 平成30年度正味財産増減予算の承認を求める件

第3号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて承認を求める件

出席等：提案書に対し、理事3名全員の書面による同意の意思表示により、
理事会の決議があったとみなされた。

(15) 第 6 回 臨時評議員会

日時：平成 30 年 3 月 26 日

開催場所：書面決議

決議事項：第 1 号議案 定款一部変更の承認を求める件

第 2 号議案 監事の報酬額決定の承認を求める件

第 3 号議案 監事の報酬追認の承認を求める件

出席等：提案書に対し、評議員 3 名全員の書面による同意の意思表示により、
評議員会の決議があったとみなされた。